ふるさと(霞ヶ浦を中心とした周辺地域)の歴史・文化の再発見と創造を考える

ふるさと 「風

第15号 (2018年12月)

風に吹かれて(128)

白井啓治

・駆け急いでも日の移ろいは変わらぬと雀ら

そんなに急ぐな、と思わず言いたくなる。との移ろいが早く思えてしまうようだ。それと言い訳めいたことを言ってしまうようだ。それと言い訳めいたことを言ってしまうようだ。そかを重ねるごとに作業効率が落ちてきて、結果と齢を重ねるごとに作業効率が落ちてきて、結果と齢の移ろいが早く思えてしまうのは年寄りの専

ろ夕餉の餌を撒けと文句を言われてしまった。に、陽が落ちるのが早くなったのだから、そろそ庭に出て大きくため息をすると、梅の枝の雀ら

なことであるか。 小生の一日は、ワン&ニャンの3sと雀らとの応 か生の一日は、ワン&ニャンの3sと雀らとの応 が上で過ごしている。ワンニャンと雀らは、きっ ちりと時間が決まっており、それを守ってやって いれば問題は起こらず、良好な仲を作っていられ いれば問題は起こらず、良好な仲を作っていられ る。超の付く暢気な日々であるが、時に追い立て る。超の付く暢気な日々であるが、時に追い立て る。とであるか。

つかの間、直ぐに 151 号が追いかけてきた。 何ともうとしている。 先月 150 号を出せてホッとしたのも当「ふるさと風」の20018年も無事終わろ

失ってしまうのではないか、と危惧をのべられて 現代では様々な情報技術がうまれ、それによって 界を広げることであった。その後、人はいろいろ 朝日新聞の科学季評と題した欄に京都大学総長の った。このままでは人は真実の世界との接点を見 や確かな物語によって人々が結び付けられなくな 味を付与し、仲間に伝えてきたという。しかし、 であるが、知ることの実態とは、物語を使って世 体験を再現して共有すること、と述べられていた。 れていた。山極氏は、物語の根源的な形は他者と 山極氏が「真実につながる物語」という話を書か る里」と自分自身に定義したのであったが、先日 全員が、毎号書き続けられたことは何よりである。 慌ただしいことかと思うが、もう暫くは続けなけ な道具を作るようになり、道具は物語を作って意 人は、言葉を持つ以前から、自分が体験していな ればならないだろうと思っている。今年も会員の いことを仲間を通じて知るように進化してきたの 人は好きなように情報を解釈するようになり、今 当会報を立ち上げる時、「ふる里」を「物語の降

かと思ってしまった。一票は無駄にしたくないが、ないものばかりであった。途端、選挙をどうするちの主張を読んだ。実に薄っぺらで物語の存在しこの記事を思い出しながら、県議選立候補者た

しいため息ばかりが出る。発行されるときは、結論が出ているだろうが、寂さてどうしたものかと思ってしまう。この会報が

のであった。

無平智恵子さんが中心となって開いている、当業平智恵子さんが中心となって開いている。

過ぎないのだ。 言い訳を口にする。でもそれは自分への言い訳に 話をすると似合うだとかに合わないだとか色々な りも自分の気持ちに失礼だと思うのだが。そんな それは実に勿体ないこと。お金もそうだし、何よ のお洒落を楽しむことを捨ててしまう。しかし、 横並びで居たいと思ってします。どこか自分だけ 主張と言った方が良いだろう)と思う反面、皆と ことは別にして、派手過ぎるかしらとか、デザイ だけ言葉に綴れば良い。○○で○○だから感動し ンが奇抜過ぎるかしら、などと目立ちたい(自己 たいと思う。しかし、いざ求める時には、価格の 既製服は嫌だ。もっと自分らしく個性的な服を着 部が伝わりますよ。そんな話を少しだけしてきた。 に表し感動した時の心の色を一刷きすればもう全 た、などと説明は要りません。感動した、と言葉 しみましょうよ、と。感動したら「感動した」と 雑談をしながら思った。多くの人は、吊るしの 皆さんには、こんな話をした。もっと自由に楽

かりである。 うがように、自由で自在な年であることを願うばればいけないと私は思っている。来年も、私の思人は、どんな側面においても自由で自在でなけ

後は強い1本を残すのだという。 せ、より強い苗を育て、後は順次間引きをし、最 そうなのに…。その理由は、幼い苗同士で競争さ 子の発芽率は、ほぼ100%。種子は1個で良さ 穴に5個の種子を播きなさい!との事。 レビ「野菜の時間」の指導によれば、1つの蒔き 9月半ば「桜島大根」の播種をした。 今時の種 N H K テ

むのであろう。逆に言うならば、一人っ子で甘や している。 かして育てる事は、何の得にもならない事を示唆 競争で強化育成し、万難を乗り越える耐久力を育 野菜に限らず動物も、万事がこの原理に従い、

腹いっぱいなのに、下位のものが食べようとする 足元にも及ばない。これが生き物の実態なのかも せっせと金を貯め、貧乏人はいつまでたっても、 相違なのであろうか。いや人間だって、金持ちは と、邪魔をする。この辺が人間と動物との品位の れの中に序列ができ、親分は、自分は食べ放題で 体格で出荷できると思いきや、そうではない。群 の個体も後は平等に摂取でき、最後は、みな同じ で運命は定まる。しかも、離乳後、エサは不断給 じている。子宮胎盤のどこに受精卵が着床するか し。これも運命というか、胎児の時から格差は生 発育の遅れた子豚は離乳迄、差をつけられっぱな 子豚は益々早く大きくなり、同じ兄弟姉妹でも、 8対16個もある。普通子豚は8~14頭位生まれ には、左右最低6対12個の乳房がある。多い例は 乳房を自分の専用とする。従って、元気で大きい る。生れ落ちたら元気のよい順に、多く乳の出る 私は豚の飼育を永年に渡り観察してきた。母豚 食べ放題。無制限に餌はあるのだから、ど

> れるのが現実の姿なのであろう。 しれない。所詮、生き物とは、生存競争に明け暮

というか、強弱の問題があるらしい。受精の時、 に加え、基本的には、遺伝子の段階から生存競争 栄養。生育環境。諸々考えられるが、そういう事 のではなく、全く、ランダムに発現するのだとい 生存に有利な遺伝子が生き残る確立が高いという の時から競争をしているのだという。その場合、 多くの餌を独り占めするなどして、生き残る確率 生存競争の勝利者とは、生まれ落ちた者が、より 同じ遺伝子座の対立遺伝子(例:背が高いか低いか)同 の原理は何が支配しているのか? 子供の性別。 の中間が常識と考えられるが、そうではない。そ を高める事を云うと思ってきたが、なんと遺伝子 伝的に優勢であるという。生まれる子供は、両親 士は、何とか生き残ろうと競争をするものらしい。 身長に差のある夫婦の場合、背の低い方が、遺

図か、偶々人類は、背の低い方の遺伝子が強く働 果たして有利か分からなくなる。偶然か神様の意 見しやすくなる。とするなら、背が高くなる事は、 高くなれば、猛獣など敵からも素早くこちらを発 た者が子孫を残す確率が高くなる。しかし、背が くまで見渡し、素早く敵を発見し、より早く逃げ 牙や鉤爪など生来の武器があるじゃなし。 くようになったらしい。 て早い脚もなし。その為に、伸びあがり、より遠 森林からサバンナに降りた人類の祖先は、 さりと 角や

〔対立遺伝子〕

数有るからである。 てみたい。身の回りに、遺伝に関連した事象が多 本題の対立に関する遺伝性について、 少々触り

> 多いのだが、それを科学的に理解しようと思って っているのだろうか? まず、遺伝現象は、身の回りに、どのように振舞 も関心を持つ事象を例に、簡単に触れてみたい。 も、小難しくて、入門しがたい。それゆえ、誰で い。日常の生活において遺伝に関連した出来事は 伝学」ほど難しい言葉が羅列されている世界はな 私は多くの科学論文や解説書を紐解いたが、「遺

などなど…。 穴より優勢。小さな耳たぶより、福耳の方が優勢 ある方が優勢。下を向いた鼻穴は、上を向いた鼻 低い方が優勢。歯並びは悪い方が優勢。えくぼは 毛より優勢。まつげは長い方が優勢。背の高さは 色は、より濃い方が優勢に遺伝する。 勢で、一重が劣性という事である。肌と眼と髪の ら、子供は二重になる確率が高い…即ち二重が優 ると、親のどちらかが一重瞼で、片方が二重瞼な ある。従って劣性遺伝も、生存に不利益に働く遺 ではなく、その遺伝子が強く働く…という意味で か言われるが、優勢とは、優れた遺伝子というの による表現が弱く出るという事である。例を挙げ 伝要素が強く出るというのではなく、その遺伝子 そもそも「優性遺伝子」とか「劣性遺伝子」と くせ毛は直

色黒と白い肌) 毎に決まっている。 但し、 対立内容の の中の染色体は、両者合体し、シャッフルされ、 いる。受精に際し、両親の配偶子(卵子・精子)の核 両親の同じ染色体の同じ「遺伝子座」に鎮座して つけ、優性に働く。これは、各対立遺伝子(例えば 遺伝子が父から来た一重の遺伝子の働きを押さえ 母が二重で父が一重だったら、母から来た二重の 再び半分に分かれ、受精卵は2個→4個…の細胞 に分裂し、人間の大人の体細胞数は 60 兆個である。 このように瞼が一重か二重かを決める遺伝子は

係ない場合もある。その一覧表を次に掲げる。ない場合もある。「利き腕」のように遺伝と全く関種類によっては、中間だったり、影響が非常に少

1:非常に遺伝性の強いグループ

肌や眼や髪の毛の黒っぽい色。縮毛。体臭。

集中力.。巨乳。秃頭。

3:遺伝性の弱いグループ

酒好き。声質。頑固さ。神経質。浮気性。IQ (知能指数)。暗記力。カナヅチ。あがり症。

外の何物でもない。 1%にも満たない。もし、IQの遺伝性が弱いる。この例からも、IQに関しては遺伝性が弱いる。この例からも、IQに関しては遺伝性が強力なら、もっともっと親子受賞の例数が多い筈である。この例からも、IQに関しては遺伝性が強力をいる。

考え方は妥当であろう。 考え方は妥当であろう。 子の子の両親、更にまたその両親と5代遡ると、 名の子の両親、更にまたその両親と5代遡ると、 の子の両親、更にまたその両親と5代遡ると、 の子の両親、更にまたその両親と5代遡ると、 の子のような事例から、子供の能力の将来性につ

*

反対の表現をする遺伝子同士である。親の希望か座に位置する、ある「性質 例: 肌色の濃淡」が全く子とは、父母両方から来た染色体の、同じ遺伝子さて本題に戻り、対立遺伝子である。対立遺伝

子同士は競い合いを行う。 自己複製的に強力に働く。こうして対立する遺伝伝の世界では、そんな事は全く関係ない。どちら伝の世界では、そんな事は全く関係ない。どちらかが強く、弱い方を押さえつける。要するに遺伝かが強くしい方の遺伝子が強く働き、悪い方のらすれば、良い方の遺伝子が強く働き、悪い方の

4分の3は期待外れという事。

以前にも書いたが、メンデルの「分離の法則」以前にも書いたが、メンデルの「分離の法則」以前にも書いたが、メンデルの「分離の法則」以前にも書いたが、メンデルの「分離の法則」以前にも書いたが、メンデルの「分離の法則」以前にも書いたが、メンデルの「分離の法則」以前にも書いたが、メンデルの「分離の法則」以前にも書いたが、メンデルの「分離の法則」

*

何に自己の遺伝子を、遺伝子プールの中に数を増いう。更に『個々の利己的な遺伝子の目的は、如盲目的にプログラムされたロボットである』ともせいう名の利己的な存在を、生き残らせるべく、械である』という。そして『我々人間も、遺伝子林である』という。そして『我々人間も、遺伝子は、『生物の個体は、遺伝子が繁殖するための機れをくむ動物行動学者リチャード・ドーキンス博れをくむ動物行動学者リチャード・ドーキンス博

ログラム化する。

、生存に有利なように強く振舞うよう、体をプく、生存に有利なように強く、病気に強く、腕力も強場となる「体」を有利にプログラムする事にある。場となる「体」を有利にプログラムする事にある。 やしていくかにある』…と。数を増やしてどうすやしていくかにある』…と。数を増やしてどうす

卵に命を繋ぐ事にある…と。 精卵」であり、そして最終目標も次の世代の受精善あらゆる生命の始まりは、単一の細胞即ち「受

要するに私が今まで何度か書いた、人間を始め、要するに私が今まで何度か書いた、人間を始め、という事らしい。これが人生の最終目標となるよりにプログラム化された単純なロボットなのだ…りにプログラム化された単純なロボットなのだがある。要するに私が今まで何度か書いた、人間を始め、要するに私が今まで何度か書いた、人間を始め、

ロボットにとって、それは何なんだろう?そうなると、「家系」だとか「親の権威」だとか、

なロボットなのかと、不思議に思う。 の凡人と何ら変わらない道を歩んでいる可哀そうの凡人と何ら変わらない道を歩んでいる可哀そう 胞の遺伝子にプログラム化された既定の行動に、胞のすなのでした。この人達も、己の生殖細 の顔をつくづく見ると、この人達も、己の生殖細 の顔をつくづく見ると、この人達も、己の生殖細

少ないようだ。私がオーストラリアの農場を見学いで、親の財産は無償で子供に相続させる考えは個人主義が幅を利かし、親子だってライバルみたを兼ねた立派なものと考える。それが西洋では、を兼ねた立派なものと考える。それが西洋では、を主義がどうのこうのと言われたが、確実に己封建主義が幅を利かし、親子だってライバルみたび、現の財産は無償で子供に相続させる考えは、といようだ。私がオーストラリアの農場を見学いで、親の財産は無償で子供に相続されている。

を継続する事にある。 を継続する事にある。 を継続する事にある。 生物の本能は、安全に遺伝子にかがなければ、オークションで競売にかけ、それぞれ長にあるだろうが、生物の本能は、それぞれ長能力がなければ、オークションで競売にかけ、そしたとき、老夫婦は、子供にこの農場を買い取るしたとき、老夫婦は、子供にこの農場を買い取る

*

妙に適応した者のみが生き残る。地球の気候変動などで、食べ物が激減すれば、巧河時代や急激な温暖化などを繰り返し、度重なる生存競争に敗れた個体は、子孫を残しにくい。氷遺伝子を持った個体のみが子孫を残す事になる。すて、人間の性格や行動も、遺伝子に支配されさて、人間の性格や行動も、遺伝子に支配され

12%で、矮小化した時代もある。
地球の歴史は、酸素濃度が35%(現在21%)にも

飛躍の早とちりかもしれないが、俺さえ生き残ればそれで良し。自分第一、自国第一の世界情勢も、すべてがこの原理の支配下にあるらしい。トも、すべてがこの原理の支配下にあるらしい。トランプ大統領は、突然変異でも、独善主義の申し子でもない。人間の本性を、如実に表した単細胞子でもない。人間の本性を、如実に表した単細胞ありにもかけ離れた単細胞。大国の大統領ともあまりにもかけ離れた単細胞。大国の大統領ともありにもかけ離れた単細胞。大国の大統領ともありにもかけ離れた単細胞の場合が、他さえ生き残の大々から支持される巧妙な手法を取ったらよかの大々から支持される巧妙な手法を取ったらよかの大々から支持される巧妙な手法を取ったらよい。

つきが平気な国?がいるの摩擦は永遠に続きそうである。嘘がら、埋め立て・軍事化を着々と進めている。嘘南沙諸島は軍事化しないと世界に公言しておきな的財産」を、平気で盗み取る事に何の躊躇もない。片や先進国が莫大な経費を注いで成し遂げた「知どうやら米中の摩擦は永遠に続きそうである。

片や莫大な金を注ぎ込んで開発した新技術を盗れ(凡そ30兆円相当とか)、それを基に輸出攻撃をかまれ(凡そ30兆円相当とか)、それを基に輸出攻撃をかまれ(凡そ30兆円相当とか)、それを基に輸出攻撃をかまれ(凡そ30兆円相当とか)、それを基に輸出攻撃をかまれ(凡そ30兆円相当とか)、それを基に輸出攻撃をかまれ(凡そ30兆円相当とか)、それを基に輸出攻撃をかまれた現象なのである。これも元を礼せば、小さ家間の生存競争である。これも元を礼せば、小さ家間の生存競争である。

…とはね。 …とはね。 …とはね。

*

陽光の刺激によるビタミンD活性が薄れ、クル病逆に高い緯度の地方で、皮膚の色が黒いと、太

になりやすい。骨軟化症や骨粗しょう症にもなり になりやすい。骨軟化症や骨粗しょう症にもなり になりやすい。骨軟化症や骨粗しょう症にもなり になりやすい。骨軟化症や骨粗しょう症にもなり になりやすい。骨軟化症や骨粗しょう症にもなり になりやすい。骨軟化症や骨粗しょう症にもなり になりやすい。骨軟化症や骨粗しょう症にもなり

ない方が利口である。
は、長年培った遺伝子の力の配分に逆らったりしは、長年培った遺伝子の力の配分に逆らったりしが薄れ、クル病や骨粗鬆症にかかっている。人類る。逆にカナダに住み着いた黒人が太陽光の刺激紫外線が強く皮膚がんが多発し、現在苦労していまた、オーストラリアに白人が移住したために、また、オーストラリアに白人が移住したために、

*

も、人生の幅を広げるかもしれない。見えない支配者「遺伝子」を、もう一度見直すの多かった。正しい知識の基に、永続してきた目に少々想定外。そして遺伝力の強弱など、勘違いもしているが、悉く遺伝子に支配されているとは、日頃、遺伝子の事などあまり気にしないで生活

こそ、私の永遠の夢である。 人類は、智慧があり、万物の霊長と言われる 人類は、智慧があり、万物の霊長と言われる 人類は、智慧があり、万物の霊長と言われる 人類は、智慧があり、万物の霊長と言われる

地域に眠る埋もれた歴史(45) 木村 進

(1) 常陸府中藩 (小石川播磨屋敷)

役・御附家老となっていたが、家督を譲った忠輝 在の栃木市)の城主から家康の六男松平忠輝の守 町中に移動して町の治安回復に努めました。現在 ました。藩主は府中(石岡)には、 屋敷裏)の江戸屋敷に藩主が住むという形になり 〇年に水戸藩初代藩主徳川頼房の五男・松平頼隆 50年ほど藩主がいない状態が続いたが、 去して一時的に、ここは幕府領となった。 目の皆川成郷に嗣子がおらず 1645 年に成郷が死 れて与えられた褒賞であった。しかしその3代 の身となっていた。府中藩1万石は謹慎を解か との間で争いとなり、家老職を解かれ京都で謹慎 ぎました。皆川広照は下野(しもつけ)の皆川(現 原で活躍した出羽の豪族「六郷政乗」に恩賞とし 移ると、家康はここ常陸府中藩(1万石)を関が の町並みの基礎は恐らくその時にできたのではな みを整え、清凉寺を菩提寺とし、 年までの短い期間に、義尚は戦争で焼かれた町並 にて謹慎の身であった皆川広照がその後を引き継 本庄藩(現秋田の由利本荘市)に移り、京都の智積院 て与えます。その後1623年に六郷政乗は出羽 いかと思われます。 た。そして佐竹氏が秋田へ転封となった1602 握した佐竹氏は義重の弟の義尚を城主としまし (徳川光圀の弟) がこの空いていた府中藩と陸奥長 大掾氏を滅ぼし (1590年12月)、ここ府中を掌 (福島県須賀川市長沼)を合わせて2万石をもらう 参勤交代もなかったので江戸の屋敷にほとん そしてここ常陸府中と陸奥長沼の 1602年に佐竹氏が秋田に 江戸の小石川(水戸藩の江戸 いくつかの寺も ほとんど来 1 7 0 その後

磨坂のある場所です。(従四位)」を任じられていましたので、江戸屋敷(従四位)」を任じられていましたので、江戸屋敷どいたようです。小石川の松平氏は代々「播磨守



石岡にいると常陸府中藩の実態がわからなくなったようです。いまはここにマンションが建っての藩でもあり水戸の殿様の「後楽園」に近い小ての藩でもあり水戸の殿様の「後楽園」に近い小工川にこの播磨屋敷がありました。そこで、この屋敷の場所を探すと小石川植物園(江戸時代の地図では小石川御菜園)の少し南西方向の茗荷谷駅方面に少は小石川御菜園)の少し南西方向の茗荷谷駅方面に少は小石川御菜園)の少し南西方向の茗荷谷駅方面に少は小石川御菜園)の少し南西方向の茗荷谷駅方面に少は小石川御菜園)の少し南西方向の茗荷谷駅があります。

水戸藩は後楽園、小石川後楽園あたりですので

水戸藩邸の北西部になります。

平播磨守〕」と書かれています。藩邸のまわりの家々 は桜の名所となりました。 磨坂の通りが整備され、桜の木が植えられて今で めたりし、とうとう破産して屋敷を売却してしま 廃藩置県で石岡藩の藩知事となり、その後子爵と の先祖の家です。 塚良仙」という名前があります。これが手塚治虫 の名前を見ていくと、播磨屋敷の東南東側に「手 いました (大正15年)。昭和になり、この屋敷跡に播 類研究に没頭し日本に住むすべての鳥の剝製を集 なりました。しかし、その次の代の松平頼孝は鳥 たようです。 明治維新の時は十代 松平 の松平家は、しばらくこの広大な屋敷に住んでい た。良仙(又は良庵)の名前は世襲です。明治以降こ 上図は江戸の古地図です。地図に 常陸府中藩の藩医をしていまし 「播磨屋敷 頼策で、

(2) 陣屋門

門がどのようになっていたかはわかりませんが、 藩が4つあり、讃岐高松藩(12万石)、 このときにできた陣屋門が最近まで残されていま 2月に府中藩の陣屋門が作られました。 その前の に余った材木を譲り受けて、文政11年 ことになり、新しい木材を調達しました。 が火災で焼失したために、藩邸を新しく建て直す が、9代目松平頼縄のときに,江戸小石川の藩邸 ました。あまり当時のものが残っていないのです 陣屋は府中城のあった(現石岡小学校)に置かれてい 高は 52 万石でした。このほかに水戸徳川藩には支 になり、この府中(石岡)には陣屋がおかれました。 水戸徳川家はご存知の通り徳川御三家の一つで石 した。主として欅(けゃき)材が用いられています。 さて1700年に松平家が常陸府中に入ること (1828) その際

格として、他の三藩は兄弟のようなものです。ります。高松藩は初代水戸藩主の長男ですので別2万石)、常陸宍戸藩(笠間市宍戸:1万石)があ藩(郡山:2万石)、常陸府中藩(石岡・陸奥長沼:



校していました。

校していました。

校していました。

がおましたので紹介します。これを生徒はくぐって登の子供(生徒)の数は今の5倍くらいました。 木造の子供(生徒)の数は今の5倍くらいました。 木造の子供(生徒)の数は今の5倍くらいました。 木造の子供(生徒)の数は今の5倍くらいました。 木造の子供(生徒)の数は今の5倍くらいました。 本造がしていました。

月に市民会館が完成オープンとなり、陣屋門も昭に市民会館の建設工事が着手され、翌昭和43年4人の反対署名、市の人口の20~25%)ましたが、昭和42年ました。同時に移転反対運動が起こり(約8,000を建設計画と、この陣屋門の移転計画が発表される建設計画と、この陣屋門の移転計画が発表される建設計画と、この陣屋門の移転計画が発表される理が出土を

和4年3月に小学校校庭へ移されました。



じ様式です。
おれてす。江戸城桜田門や御所の蛤御門などと同形式です。江戸城桜田門や御所の蛤御門などと同ると城などの門としてよく使われていた「高麗門」た当時の陣屋門です。この門の構造に注目して見た当時の写真は、小学校の校庭に移されて保存され





宍戸藩の陣屋門(笠間市) に描かれた松平家の家紋

でする。 これでは、 これでは、 これでは、 これでは、 このように三つ葉葵の周りを六角形で囲んだ形描かれている六葉葵のようです。 なく、真中に花があって、まわりに葵の葉が六個また、瓦の家紋は一般的な徳川家の三つ葉葵では、 もう一つは屋根の上の鯱鉾も変わった形です。

★ 陣屋門再移転

少し左奥側)に復元されました。 2014年秋に、この陣屋門が元の場所 (実際は

ものが作られたといった印象です。のですが、寸法もだいぶ大きく変えて全く新しい新しい陣屋門は思ったより大きく綺麗になった

が許されるはずもありません。里」と言いながら、行政の判断でこのような変更瓦の紋は三つ葉葵になりました。石岡は「歴史のなどをすべて元の形から変更してしまいました。屋根の瓦を変える際に鬼瓦やしゃちほこ、家紋



が許されるはずもありません。
里」と言いながら、行政の判断でこのような変更瓦の紋は三つ葉葵になりました。石岡は「歴史のなどをすべて元の形から変更してしまいました。 屋根の瓦を変える際に鬼瓦やしゃちほこ、家紋

石岡市指定文化財(九) 兼平智惠子

若宮八幡神社本殿紹介してありますが改めて確認したいと思います。当会報八二号の「若松町の八幡太郎さま」でご一番三号に鎮座する若宮八幡神社本殿です。一番三号に鎮座する若宮八幡神社本殿です。

有形 (建造物)

平成五・三、二五指定

当社に参籠して武運長久を祈願したと伝えられて散を祈願。下って応永二年(二三五五)、太田道灌、郎源義家が奥州征討の折、当社に参籠して朝敵退郎源義家が奥州征討の折、当社に参籠して朝敵退かこと・応神天皇)、姫大神。 神亀五年(七二八)に建みこと・応神天皇)、姫大神。 神亀五年(七二八)に建みこと・応神天皇の母とされている神功皇后)、誉田別尊(ほむたわけの神天皇の母とされている神功皇后)、誉田別尊(ほむたわけの神天皇の母とされている神功皇后)、

に拝殿を建立。の一つで、寺院の事務長官) 福蔵坊という僧が本社並びの一つで、寺院の事務長官) 福蔵坊という僧が本社並びた際に焼失。しかし慶長七年(二六〇二)、別当(僧職天正一八年(三五九〇)に佐竹義宣が府中を攻略し

する。 城守が本社並びに拝殿を建立し御供免十石を寄付城守が本社並びに拝殿を建立し御供免十石を寄付

東文五年(二六六五、将軍徳川家綱の時)領主松平伊寛文五年(二六六五、将軍徳川家綱の時)領主松平伊寛文五年(二六六五、将軍の正立となっていました。外に正正を入母屋造、背面を寄棟造とした妻入。外観正面を入母屋造、背面を寄棟造とした妻入。外観正面を入母屋造、背面を寄棟造とした妻入。外観正面を入母屋造、背面を寄棟造とした妻入。外観正面を入母屋造、背面を寄棟造とした妻入。外間で本殿は桁行(けたゆき)三間、梁間(はりま)三間、本殿は桁行(けたゆき)三間、梁間(はりま)三間、本殿は桁行(けたゆき)三間、梁間(はりま)三間、本殿は桁行(けたゆき)三間、梁間(はりま)の機能を造り付けており、一棟で本殿と拝殿」の機能をを造り付けており、一棟で本殿と拝殿」の機能をを造り付けており、一棟で本殿と拝殿」の機能をを造り付けており、一棟で本殿と拝殿」の機能をを造り付けており、一棟で本殿と拝殿」の機能をを造り付けており、一棟で本殿と拝殿」の機能をを造り付けており、一棟で本殿と拝殿」の機能をを造り付けており、一棟で本殿と拝殿」の機能をを造り付けており、一棟で本殿と打造している。

今年、恒例の八幡神社の大祭は十月八日体育のを変えるといった珍しい手法も特徴です。風神・雷神を祀っている。また、前後の柱の形式後ろの間の左右を囲って随神門に似た造りとし、陣門は、四脚門形式でありながら扉を設けず、

への参拝を誓うのでした。れの参拝を誓うのでした。来年こそ大祭に八幡さまかに行われたそうです。来年こそ大祭に八幡さまれた石岡のまつりに活躍の八幡太郎さまと山車、には、子供さん達に人気の奉納相撲、九月に行わ日に行われました。午前中に祭典が行われ、午後日に行われました。午前中に祭典が行われ、午後日に行われました。

るこの頃です。
これからも益々厳しい状況が来ることを心に止めまでいや世界にも、自然が猛威をふるいました。
しまいました。今年も日本全国、九州から北海道

うございました。とば絵展」には、沢山のご来場を頂きました有難とば絵展」には、沢山のご来場を頂きました有難二十一日まで行いましたふるさと風の会「風のこま後になってしまいました。去る十一月十七~

人にお手紙をさしあげて見て下さい。い、言葉に落とし、その言葉に絵を添えて、思う日々の嬉しかったこと、楽しかったの幸せを拾

した。来年もどうぞよろしくお願い致します。「ふるさと風」一年間のご愛読有難うございま

参考資料

石岡市史・石岡の歴史と文化

八幡神社の説明板

・置いてきぼりだよ柿一つこ 智惠子

常陸国風土記遺称地を巡る

れてか、あまり身近に感じない儘きてしまった。書かせたものだ、という。そんな先入観に左右さ人は、作り話だ、支配する者が良いとこ取りして是迄、風土記とはあまり係わってこなかった。

日を胸が高鳴り待ち遠しかった。
日を胸が高鳴り待ち遠しかった。
ここ何年、改めて思い直した。二千年以上も前のここ何年、改めて思い直した。二千年以上も前のことがといけないと感じたから、取り組みにも今かないといけないと感じたから、取り組みにも今かないといけないと感じたから、取り組みにも今かないとは違うものがあった。二千年以上も前のとのが綴り継がれるれたにしても千年以上も前のものが綴り継がれるれた。

い気持ちが後々長く尾を引いた。
ことは後で分かったが、とても残念だし申し訳な出発した。九時五分に三昧塚古墳に来た人がいたった十人の姿に勇気を貰い、九時には意気揚々とから天候が心配だったが、その心配に輪を

地に思いを馳せようと思う。かった。何か心残りが大きく、せめて文にてそのとを思うと先生の気持ちも察し、計画には入れなら筈だが美しい弟橘姫の姿は、昨年紛失されたこの「順序から行くと、一番目は、橘郷造神社へ向か

手を翳して何を思っているのだろう。無梶川から上総国に渡る時でした。海が荒れ狂い今にも船が沈みに渡る時でした。海が荒れ狂い今にも船が沈みに渡る時でした。海が荒れ狂い今にも船が沈みに渡る時でした。海が荒れ狂い今にも船が沈みました。当時は湿地、それ以上に水辺だったといました。当時は湿地、それ以上に水辺だったといました。当時は湿地、それ以上に水辺だったといました。当時は湿地、それ以上に水辺だったといました。当時は湿地、それ以上に水辺だったといました。当時は湿地、それ以上に水辺だったといました。当時は湿地、それ以上に水辺だったといました。当時は湿地、それ以上に水辺だったといました。当時は湿地、それ以上に水辺だったといました。

見せていただいた。 らばっているようだ。先生の技術の素晴らしさをらばっているようだ。先生の技術の素晴らしさをの小さな穴から陽の光が見える。像の中に星が散亡き妻のことを忍んでいるのだろうか。角髪や腕

ってその川を無梶河という」川を上られたとき、棹梶が折れてしまった。よ「この岡を下り、大益河に出て、小舟に乗って

(に入る。鴨宮は農家の間の坂道を上って行った。 に入る。鴨宮は農家の間の坂道を上って行った。 に入る。鴨宮は農家の間の坂道を上って行った。 を流し滑るような所もある。這うように又、草に を流し滑るような所もある。這うように又、草に でくるひとときに疲れも感じなかった。木立の奥 に古い宮があり、その入り口の所に鴨を射る逞し に古い宮があり、その入り口の所に鴨を射る逞し に古い宮があり、その入り口の所に鴨を射る逞し に古い宮があった。先生は、古代の弓の形に苦労 された話しをしておられた。以前は鴨が飛び立つ された話しをしておられた。以前は鴨が飛び立つ された話しをしておられた。以前は鴨が飛び立つ はに移動したということだった。娘の親戚の人に 様子で話してくれたことが思い出される。

はえる草木もない」は地に堕ちた。その地を鴨野といふ。土は痩せ、飛び渡ろうとしていた。 天皇が弓を射るや、鴨が無視河をさらに上って郡境まで至ると、鴨が

次は田が続く旧道と35号添いに出る。先生から たれていた。池の中も水の流れが大事なので小枝、 がら行ってみたいと思いながら、実現出来る今日、 かけている玉清井の場所に着いた。リーダーの人かけている玉清井の場所に着いた。リーダーの人かけている玉清井の場所に着いた。リーダーの人かけている玉清井の場所に着いた。 と思いながら、実現出来る今日、 を がは田が続く旧道と35号添いに出る。先生から

> 里の六〜七井のことを考えていた。 生の六〜七井のことを考えていた。 は元の人が先生の作られた尊の像と周辺の調和を 大切にしているのがよくわかる。道路の方からみ 大切にしているのがよくわかる。道路の方からみ 大切にしているのがよくわかる。道路の方からみ 大切にしているのに改めて驚き、豊かな自然を護り、 大の葉の始末もよく行われている様子が伺われた。

の台地には曽尼駅がある。一度行ってみよう。 する時間もほしいと思うのは、贅沢だろうか。後 姿を水面に映してきたのだろう。 ここでゆっくり だろう。池の後の台地の山の草木が、 ぼこ」と古代から変わることなく湧き出てきたの の煩わしさに関係なく椎井池の水音は「ぼこぼこ と共に、活気がなくなったのだろう。ただ人の世 わっている。駐車場の白線も汚れて人影が去った 行く。大きな車は静かにゆっくり走る。以前は老 いう。上に行かず手前を谷津田の方へ曲ると、美 走った。冬の良く晴れた夕方は富士山が見えると 看板も傾き、小石の積まれた上に葛が這いずりな す汚れた建物が見えるだけだ。左側の建設会社の しい黄金の波が揺れていた。山の縁をくねくねと 人の憩いの場が盛んで人が寄り、木の間隠れにう 椎井の池へ行くのは、田の中をBGへ向かって ひき、今も行方里の中に在りて、玉清井と謂う」 水に臨みて手を洗い、玉を以ちて井を尊びたま 「この国を経過ぎ、即ち槻野の清泉に頓幸し、 四季折々の

す。天つ神か国つ神かわかり申さぬが、詔をおげて「堤を築くのは民を生かすためでございま群れて、なかなか去らなかった。麿は、声を挙群れて、なかなか去らなかった。麿は、声を挙とき、夜刀の神は、池のほとりの椎の木に登りとき、夜刀の神は、池のほとりの椎の木に登りに、生生連麿がこの「難波の長柄の豊崎の大空に天の下知ろし食し「難波の長柄の豊崎の大空に天の下知ろし食し

井もあり、それをとって池の名とした」 は逃げ隠れた。その池は、今は椎井の池と呼ばとなく殺すべし」と言はうとしたときに、神蛇となく殺すべし」と言はうとしたときに、神蛇とができれるこりできれることいひ、さらに工事の民に「目聞かせください」といひ、さらに工事の民に「目

をあとにした。 とに建物をたててしまったと聞く。いつの世も横 り母親らしい姿、娘が指をさしているのは家の 集落を造っていた地域だという。貝塚も広範 生産に励む世の形だ。この辺一帯は沢山の人が住 生産に励む世の形だ。この辺一帯は沢山の人が住 生産に励む世の形だ。この辺一帯は沢山の人が住 とに建物をたててしまったと聞く。いつの世も横 をあって指定・保護されている空か、本当に頼 をはいる。負けてはいられない。ほっとした気 とに建物をたててしまったと聞く。いつの世も横 をあとにした。 次の坂を登って行くと、大木の下に幸せそうな をあとにした。

名付けられた」の地に住んでいた手鹿という名の佐伯を偲んで那より西北に向かうと堤賀の里がある。昔、こ郡家の傍らの集落には橘の木も茂っている。

違う作りだった。宮路先生にとって最後の作品とすの姿を見た。像の作り方も前の五(六)体とは立ち向かう男と、夫亡きあと支配者に身を委ねるきは此まることなく素通りしているが、以前は長途中何カ所かに「~宿」という字が目についた。途中何カ所かに「~宿」という字が目についた。

新たな発見に感謝して帰り道を急いだ。

な場所でも、離れた所では知らずに過ごしてきた。

な場所でも、離れた所では知らずに過ごしてきた。

な相撲場を一回りして歩いた。この地域では有名

た。社殿も大きく、境内も広く、奥の方には大き

た。社殿も大きく、境内も広く、奥の方には大き

なったこの像は思いが一と入だったことだろうと

下し、その家をお許しになった」
「当麻より南に、芸都の里がある。昔、寸津比売といふ二人の国栖がいた。寸津比むけに背いて、はなはだ無礼な振る舞いをしたので、剣の一太刀に討たれてしまった。寸津比ので、剣の一太刀に討たれてしまった。寸津比古、大皇を迎えた。天皇は憐れんで温情をれ伏し、天皇を迎えた。天皇は憐れんで温情を下し、その家をお許しになった」

六~七体の像を案内して頂き、宮路先生の長い 大変だったろう。経済的な面で支えてくれた当時 根底にあったからこそ仕上がったものだと思った。 当に大変でした。先生自身の技術、研究等、あら 当に大変でした。先生自身の技術、研究等、あら ゆる力の結集したものだと思う。悪戯に他から見 に来なくていい。地元の人が、地域の生活、自然 の中で大切にするだけで充分だと、狭い心かもし れないが私は思った。物見遊山で尋ねてきてほし くない、と言いたい。

我が労音史(2)

木下明男

1970年からは実際に労音運動の活動家として参加しています。20代に参加した労音運動から学んだ事は前回で、終わりました。

此れからは、自分が実践の中から学んだ内容を記述します。

・1971年の社会情勢と音楽状況

東京・大阪・京都などに革新首長による自治体 東京・大阪・京都などに革新首長による自治体 東京が誕生してから全国に広まり、全国の14が革新自 が誕生してから全国に広まり、全国の14が革新自 が誕生してから全国に広まり、全国の14が革新自 が誕生してから全国に広まり、全国の14が革新自 が誕生してから全国に広まり、全国の14が革新自 が誕生してから全国に広まり、全国の14が革新自 が誕生してから全国に広まり、全国の14が革新自 が誕生してから全国に広まり、全国の14が革新自 が誕生してから全国に広まり、全国の14が革新自 が誕生してから全国に広まり、全国の14が革新自 が近生新都政発展の一助とした。

や集会を開いて抗議、また極左暴力集団による爆 が死亡。沖縄返還協定が調印され即時無条件返還 全日空機も雫石上空で自衛隊機と接触し墜落等痛 まった。東亜国内航空機が函館上空で墜落、更に たカドミウムと認定され、公害問題への関心が高 タイイタイ病」の主因は三井金属鉱山から流出し 置付けた〉。この年環境庁が発足、富山地裁が「イ との闘いで体制側の文化支配と闘う創造運動と位 き方に於ける労働者の価値観」であり、 を求める多くの国民は全国各地で協定反対のデモ 次強行代執行中に地元農民との衝突で警察官3名 ましい航空機事故が続いた。成田空港用地の第二 は〈文化闘争は「ものの味方・考え方」即ち「生 主要労働組織) が文化闘争方針を提起した、その要点 また総評(社会党系労組のナショナルセンター/この時期の 反動教育

に訪中し、ニクソン大統領の訪中計画を発表され、この年、米大統領補佐官キッシンジャーは秘か

戦機運が盛り上がった。 戦機運が盛り上がった。 戦機運が盛り上がった。 の外交に日本政府の面目が失われた。アメリカのドル防衛策(ドルショック)が発表され、主要リカのドル防衛策(ドルショック)が発表され、主要リカのドル防衛策(ドルショック)が発表され、主要リカのドル防衛策(ドルショック)が発表され、主要リカのドル防衛策(ドルショック)が発表され、主要リカのドル防衛策(ドルショック)が発表され、主要リカのドル防衛策(ドルショック)が発表された。アメリカのドル防衛策(ドルショック)が発表された。アメリカのドル防衛策(ドルショック)が発表され、主要リカのドル防衛策(ドルショック)が発表された。

音楽会では、音楽家1300人が結集して日本演奏家連盟を結成、東京都交響楽団・NHK交響演奏家連盟を結成、東京都交響楽団・NHK交響演奏家連盟を結成、東京都交響楽団・NHK交響強団・日本フィルハーモニー交響楽団・NHK交響は「美濃部民主都政を支持するアッピール」を採択した。大阪でも「ベトナム人民支援の音楽と舞択した。大阪でも「ベトナム人民支援の音楽と舞けした。大阪でも「ベトナム人民支援の音楽と舞けした。大阪でも「ベトナム人民支援の音楽と舞けした。大阪でも「ベトナム人民支援の音楽と舞けした。大阪でも「ベトナム人民支援の音楽と舞けした。大阪でも「ベトナム人民支援の音楽と舞けした。大阪でも「ベトナム人民支援の大工工夫、箕作秋郎を守る戦いが始まった。

・1971年の労音の動き

して
活動を強め、会員を拡大する活動」の実践課題と
活動を強め、会員を拡大する活動」の実践課題と総会で決まった「例会内容を中心としたサークル設の労音会館で400名の代議員で開催。前年の設の年(844年5月)第19回東京労音総会は、新

①専門家と協力して例会作りを

②職場・地域に労音を

③安い会費で健全財政の維持を

④民主的な運動の促進を

⑤創立 20 周年の取り組み

発展させよう」「インドシナ人民の支援」「入場税などを基本方針とし、決議では「革新都政を守り

を上回った。 その結果: 二ヶ年計画第二年度 (70年) の目標達成率の名の目標達成は出来ませんでしたが、現象比率がては目標達成は出来ませんでしたが、現象比率がでは目標達成は出来ませんでしたが、86%と全体とし度 (71年)の拡大活動では、第三期 (71年1月~6度)を上回った。その結果: 二ヶ年計画第二年

だ。労音招聘でポーランドのピアニスト「ハラシ 般公演のチケット買い取り方式で例会に取り込ん ターと狼」等。オペラでは藤原歌劇団の「椿姫」と ラ例会では、作曲家特集として・チャイコフスキ 年度の年間企画案を討議し、 管弦楽団、バルトーク弦楽四重奏団等の海外演奏 で、4800名の参加者を組織した。オーケスト 約した。音楽の聴き手と言う立場から積極的に創 家を取り上げた。 レニングラードバレェ団「眠れる森の美女」を「 ェ団「リゼット」東京シティバレェ団「白鳥の湖」 ―(悲愴交響曲=東フィル)・プロコフィエフ(組曲「ピー 交響楽団、労音合唱団等の演奏サークルとの協力 せるために、「第九」に変わってショスタコビッチ 造していく喜びを分かち合う大合唱運動を発展さ ークル、1071人の代表者や活動家が集まり 72 エビッチ」やウィーン室内合奏団、アルスノヴァ 10月にサークル代表者会議を開き、延べ737サ 一期会の「リゴレット」を、バレェでは小林バレ 「森の歌」の取り組みで、500名の会員と労音 会員の多様な音楽要求を実現するため、 会員の音楽要求を集 9月~

を取り上げた〈白い川〉は共感を呼び、新谷のり本博士リサイタル」では、公害のイタイイタイ病泉ショウ」等の企画が注目され評価を高めた。「坂ル(II)」「すぎやまこういちリサイタル」「大橋巨ポピュラー音楽例会では「いずみたくリサイタ

羽織」(木下順]原作戲曲)が東京・大阪・神戸の核労和職」(木下順]原作戲曲)が東京・大阪・神戸の核労和、大田愛の物語は感動を呼んだ。要求の高い布施明・人間愛の物語は感動を呼んだ。要求の高い布施明・人間愛の物語は感動を呼んだ。要求の高い布施明・大田愛の物語は感動を呼んだ。要求の高い布施明・大田愛の物語は感動を呼んだ。要求の高い布施明・大田愛の物語は感動を呼んだ。要求の高い布施明・大田愛の物語は感動を呼んだ。要求の高い布施明・大田愛の物語は感動を呼んだ。要求の高い布施明・大田愛の物語は感動を呼んだ。要求の高い布施明・大田愛の物語は感動を呼んだ。要求の高い布施明・大田愛の物語は感動を呼んだ。要求の高い布施明・大田愛の物語は感動を呼んだ。要求の高い布施明・大田愛の物語は感動を呼んだ。要求の高い布施明・大田愛の物語は感動を呼んだ。要求の高い布施明・大田では、東京に関する。

催、「4年の創立25周年に向け新3ヶ年計画が討 65労音414名の代表で第14回全国会議が開 に 11 月には新しく建設された全国労音会館で 1 の参加で、冬の友好祭には1300人が参加。更 東北の老温合同の友好祭が裏磐梯にて3000人 が参加し討議された。8月には東京・関東・東海・ 名の専門家が参加。 野浩和・すぎやまこういち等をはじめとして 50 数 井上頼豊・大木正興・松本新八郎・秋山竜英・菅 ディスカッションを行う。山根銀二・岡本文弥・ 弦楽四重奏団。日本音楽集団・ふきの会・東京キ 議された。会議の初日夜には赤坂プリンスホテル ュ―バン・赤い鳥・林家正蔵他の公演が行われ、 究集会が東京で開催され、山根弥生子・巖本真理 音が共同例会として取り組み注目を集める。 「日本の音楽状況と今後の方向」についてパネル 全国の労音運動の動きは、2月に第6回音楽研 149労音1250名の代表

山根銀二氏は「失敗の中から教訓を導き展望を切民のためにあるもの、初心を忘れるな」評論家の民族芸能を守る会の小生夢坊氏は「文化は働く庶100人余と蚊労音代表者との交流懇親会が開催、

の年の全国組織は180労音19万人。 いちの年の全国組織は180労音19万人。 においい 「労音のステージが一番歌いやすくて気持ちよい」 においた。海外招聘はポポロ・イタリアーノ(カ深められた。海外招聘はポポロ・イタリアーノ(カー・イタリアージが一番歌いやすくて気持ちよい」 展のために労音は不可欠」歌手の坂本スミ子氏は展のために労音は不可欠」歌手の坂本スミ子氏は展の年の全国組織は180労音19万人。

1971年の私

行委員として参加。 一つ 行委員として参加。 一つ 行委員として参加。 一の生活から大きく変わり、ほぼ毎日のように労音の生活から大きく変わり、ほぼ毎日のように労音の生活から大きく変わり、ほぼ毎日のように労音のようになる。また、全国の会議にも参加し、関部会等々月に5回も6回も水道橋の労音会館に通部会等々月に5回も6回も水道橋の労音会館に通常、毎日の生活が労音中心に変化していく。毎日麻雀や酒飲み活が労音中心に変化していく。毎日麻雀や酒飲み活が労音中心に変化していく。毎日麻雀や酒飲み活が労音中心に変化していく。毎日麻雀や酒飲み活が労音中心に変化している。

の人が集まります。空機ファンには見逃せないイベントで、毎年大勢式と毎年開かれる航空祭があります。どちらも航

年は残念ながら行われませんでした。パルスの繰り広げるアクロバット飛行ですが、今この航空祭での一番の見どころは、ブルーイン

戦闘幾としての目的は別こ考えると、これまど対策にイヤーマフなどをしていました。うな響きが伝わってきます。多くの見学者は轟音は、その轟音は聞こえませんが、全身が震えるよは、その轟音は聞こえませんが、全身が震えるよぼ・15Jが、アフターバーナー全開で飛び廻る

を見せてくれることを楽しみにしています。ので、来年の航空祭では見事なアクロバット飛行のので、来年の航空祭では見事なアクロバット飛行前回の航空祭はつごうででかけられなくてブルー前回の航空祭はつごうででかけられなくてブルー戦闘機としての目的は別に考えると、これほど戦闘機としての目的は別に考えると、これほど

父のこと(4) 菊地孝夫

〈近頃の石岡の祭り〉

百里基地航空祭2018

小林幸枝

10年ぶりに祭りに参加した。以前住んでいた元真地である。顔だけ出すっていた。歳月を感じる。祭りのやり方もいくらっていた。歳月を感じる。祭りのやり方もいくらっていた。歳月を感じる。祭りのやり方もいくらっていた。歳月を感じる。祭りのやり方もいくらっていた。歳月を感じる。祭りのやり方もいくらか以前とは変わっていた。たまたま前の日に以前か以前とは変わっていた。と言って別れた。以前住んでいた10年ぶりに祭りに参加した。以前住んでいた元真地である。顔だけ出すつもりだったのだがい元真地である。顔だけ出すつもりだったのだがい元真地である。

数ほどは顔見知りであった。ものだから、勿論見知らぬ顔も多くいたけれど半代わっていた。何しろ10年ほどブランクがある参加するメンバーは半分ほどが若い世代にいれ

ったせいもあって、みな汗だくで準備に励んでいったせいもあって、みな汗だくで準備に励んでい夏の名残の暑さがいつもの年より厳しいものだ

るようだ。というよりはほとんど憎悪に近い感情を持っていというよりはほとんど憎悪に近い感情を持っていなじられた。その友人は祭りに賛同していない。親しい友人からはなんで参加したんだといって

が多いこともまた事実だ。らの住民は付き合いでしかたなく賛同している人と言って祭りが好きな人ばかりではない。古くかい。中には嫌いな人もいる。石岡に生まれたからい。中には嫌いな祭りに賛同しているわけではな

である。人かと行き会うことができた。祭りの一つの効用人かと行き会うことができる。筆者も珍しい人何ぶりに行き会うことができる。家族や友人と1年いるのもこれまた事実である。家族や友人も多く一方また、この祭りのために帰省する人も多く

った。親になった写真を見せてくれた、ということもあの、高校生だった時に別れたきりだった娘が、母がまけとして、知り合いの娘さんがスマホの中

の候補者もやってくる。国会議員も来た。公職選やってくる。今年は県会議員の改選もあるのでそ代わり立ち代わり町内の人や、市長、市会議員もとなっている「鹿の子」がくるのでその対応に役となっている「鹿の子」がくるのでその対応に役となっている「鹿の子」がくるのでその対応に役となっている。日町(合町?)は裏方と留守番だけの数人となる。相町(合町?)は裏方と留守番だけの数人となる。相町(合町?)は裏方と留守番だけの数人となる。相町(合町?)

いかとおもう。 ってこない。以前はもっとルーズだったのではな 挙法の規定があるので寄付や酒、ビールなどは持

日商店街では祭りの経費の負担が大変である。 日商店街では祭りの経費の負担が大変である。 と、まだましだとも言えるか。 まだましだとも言えるのは当たり前のことだろう。 商店の跡継ぎの幼馴染が祭りに賛同しないのもわあるがする。祭りがジリ貧になるのはこれまたかる気がする。祭りがジリ貧になるのはこれまたかる気がする。祭りがジリ貧になるのはこれまたかる気がする。祭りがジリ貧になるのはこれまたが、地元に落ちる金はわずかである。商店の跡継ぎの対馴染が祭りに賛同しないのもわる。 日商店街では祭りの経費の負担が大変である。

一遍の改革を言っていてはだめだ。目に見えている。石岡の活性化を言うのなら通りて、対策を立てねばいずれ過去のようになるのは地元の人間である。祭りを構成する中身を分析し率と言っても、1日10数万人。その半数近くは客と言っても、1日10数万人。その半数近くは

だけでは何も起きはしない。

参加していなかった。筆者の子供時代は、十六町参加していなかった。筆者の子供時代は、十六町た。根底にあるのは金銭間題である。どこの祭りた。根底にあるのは金銭問題である。どこの祭りた。根底にあるのは金銭問題である。どこの祭りも同じような問題を抱えている。観光客をただのもともとしてくれる銭儲けの相手と考えている。そんな心底はあっさり見透かされてしまう。

へ行って混ぜてもらうしかない。
祭りに参加したければ一六町内の友人のところ内だけで行っていた。

かかるからだろう。
うのが表向きの理由だと聞かされた。本音は金がと武士階級なので町民の祭りには参加しないといと武生階級なので町民の祭りには参加しないとい

心も示さなかった。理由は判らない。 父はついに祭りには一切かかわらなかった。関

【風の談話室】

億と言う単位 **《特別寄稿》**

<u>177</u>

田島早苗

手の届かない物の代表格だった。るのだと思っていた。それは貧しい暮らしの中でるのだと思っていた。それは貧しい暮らしの中で子供の頃、「マンション」のマンは万の字を当て

る生活の中で、億と言う字は遥か宇宙の星のようた。一円でも安いものを買うために目の色を変え称が出てきて、高級住宅は益々縁遠くなって行っそれが、バブルの頃には「億ション」と言う名

な存在だった。

るのに。

せころが最近、日産自動車関連のニュースで、ところが最近、日産自動車関連のニュースで、ところが最近、日産自動車関連のニュースで、ところが最近、日産自動車関連のニュースで、ところが最近、日産自動車関連のニュースで、

の人生なのに」と聞きたくなってくる。「お金に埋もれた貴方は幸せですか、たった一度

×

の手伝いをしていた。 村産業文化祭の国際交流コ―ナ―で、チジミ売り 億と言う単位に無縁の私は、十一月三日、美浦

な人間模様を楽しんでいるばかり。 と言いながら足早に去っていく人等々、様々いね」と言いながら足早に去っていく人等々、様々いね」と言いながら足早に去っていく人等々、様々に…と言っても腰かけたまま、 五百円のチジミパックを買うのにも迷う人や、 味見をして「美味しなり新参の私は、体調を気遣われ、手伝いらし返り新参の私は、体調を気遣われ、手伝いらし

ってしまった。ビニール袋の口を開けて渡すのが唯一の仕事に成ながら、売り上げに繋げていく仲間の手腕に脱帽。威勢のいい呼び声を張り上げ、楽しそうに会話し感勢のいい呼び声を張り上げ、楽しそうに会話し呼び込むつもりの私の小さな声は届かず、隣で

落ち着かない座り心地だった。焼きに挑戦している友にも心で詫びながら何とも焼きに挑戦している友にも心で詫びながらチジミ

物になり、固定客も付いているらしい。開店する国際交流会のチジミの販売はすっかり名活動資金の足しにするため、各イベント会場で

という。手探りで始めた日本語教室。美浦村の国際交流会が発足して二十年になる

なが戸惑うことが多かった。 会話は出来るが、書くのは苦手で、教師役のみん国際結婚で美浦の住人になった人達は、何とか

使って一生懸命だった。を実感しながらも、手作りの資料や市販の教材をポートを学校の要請で始めた時は、自分の力不足「薫の壁があって、学業に後れがちな子供のサー

言葉一つで思わぬ誤解を招くこともある。たちが理解しあって心を開くのには時間がかかる。交流と一口に言っても、生まれも育ちも違う人

け引きは難しいだろう。増して外交手段が問われる政治の世界での駆

疼く今日この頃だ。 押し付けられてしまうかもしれないと、老婆心が押らぬ間に相手のペース乗せられ、無理難題を

は私の第二の故郷。生まれ育った岐阜市よりも長く暮らした美浦村

加して、心の糧としている。村の趣味の仲間と出会い、数々のイベントにも参阿見町の住人になった今も、月に何度かは美浦

長御自慢の産業文化祭だ。
き、今年はイベント会場を三か所に広げたと、村走馬の故郷美浦村。十月の縄文村まつりに引き続、茨城県でも数少ない村として頑張って居る競

骨密度が高いと聞いたことが有る。
では、この佃煮を食べて育った美浦の住民は、一覧ケ浦名産の佃煮は相変わらずの人気で、小さ新潟県からも参加して人々の購買欲を誘っている。た出店が並び、県内各地の市町村や、姉妹都市のた出店が並び、県内各地の市町村や、姉妹都市の大出店が並び、県内各地の市町村や、姉妹都市の大田店が連び、場内を地の市町村や、姉妹都市の大田店が高いた。

見かけなかった。 影響なのか、何時もは山積みになって居た白菜を 色々の野菜が販売されている中で、天候不順の

> なって呂るふしい。 農家の後継者不足は、美浦村でも大きな悩みに

落差は何処から来ているのだろうか。 いる。億の単位の生活環境と、飢餓に苦しむ人の地球温暖化の影響で、世界中が恐慌に曝されて

しみじみ感じた文化祭だった。して居る心算でも、傍の迷惑を考えなければと、自分ではボケ防止のつもりで頑張って色々参加の声も激しかったが、年齢超過でアウト。文化祭恒例の献血車が出張って居て、呼び込み

《読者投稿》

やさと暮らし(22)

さと女

眺める秋、そして間もなく冬が。やっと秋らしくなりました。食べる秋、鑑賞の秋、

●食べる

イモまで頂いて帰る。
とミカンを沢山車に積んで、おまけの物やサツマ
とミカンを沢山車に積んで、おまけのおまいが、柿

お喋りのひと時を。 は、今年の味噌の料理を頂ける、作業の後のお茶で味見、今年の味噌は特に美味しい、これで一年美込みをした友人達と分けて、早速夕食の味噌汁でいる。一緒に仕ってくれた方もホットした様子だった。一緒に仕いる。 が、いい具合に仕上がった。たるを預から、存に仕込んだ味噌、今年の暑さを心配したがカ

> 味しくなぁれ! か? 残っている柿を少しでも作っておかないと ので。明朝は大分寒くなる様子。最後のチャンス く、快晴の日が続かないとカビが発生してしまう カラスさんの餌になっています。干し柿造りは寒 柿日和にならず、シブ柿が木の上で熟してしまい、 ぎりでも食べたら、美味しいだろうなと思った。 ていて、夏にはホタルが沢山飛んでいたよと話し ーツなども作っている。農園の中には小川が流れ くれミカン・かりん・すだち、それにドライフル 此処の農園では、柿をはじめリンゴ・ミカン・ふ と電話がある。今回は、十三塚の三宝園さんへ、 と言うわけで、ラジオを聞きながら皮剥きを。美 ・今日は久し振りに青空がでる。今年は中々干し ・早い時期に柿を送った知人から、柿が食べたい てくれた。とてもいい場所でこんなところでおに

味しい事。満足満足。
く、更にひと晩置いたので、味が凍みて、何と美く、更にひと晩置いたので、味が凍みて、何と美で2回に分けて大根と一緒に煮た。骨まで柔らか・楽市さんに頂いた大きなブリの頭3個。圧力鍋

・神楽坂へは何度も行った事のあるのに、何時もは飯田橋で降りて坂を上がって行くのだが、地下は飯田橋で降りた。わかりにくいお店だが美味しいからと違うので頭の中が混乱、尋ねること 5 回、おさん店の場所は分っているが説明できないと、宅急便のお兄さんまでがそういった、迷い迷って宅急便のお兄さんまでがそういった、迷い迷って宅ののお椀の蓋を開けて感激、トロトロの卵、写塗りのお椀の蓋を開けて感激、トロトロの卵、写塗りのお椀の蓋を開けて感激、トロトロの卵、写っとたどり着く。ギタリストの吉川さんが昼はやっとたどり着く。ギタリストの吉川さんが昼はやっとたどり着く。ギタリストの吉川さんが昼は、地下は飯田橋で降りて坂を上がって行くのだが、地下は飯田橋で降りて坂を上がった高いはいるに、何時もは飯田橋で降りて坂を上がった高いのは、一時もは飯田橋で降りて坂を上がった。

観る聴く

・第三金曜日に開催されていたランチコンサート、 を事を頂きながらのお喋りも楽しく和やかに時間 食事を頂きながらのお喋りも楽しく和やかに時間 食事を頂きながらのお喋りも楽しく和やかに時間 食事を頂きながらのお喋りも楽しく和やかに時間 を事を頂きながらのお吹りも楽しく和やかに時間 が過ぎました。

・是非聴いてみたいと思っていたホンヤミカコオ・是非聴いてみたいと思っていたホンヤミカコオオリナコンサート、出会いとは不思議なものです。若野口さんとは青春時代の知り合いだったとは。そして我が家でしばらくぶりで再会したりして、そして我が家でしばらくぶりで再会したりして、そして我が家でしばらくぶりで再会したりして、ると言う事。憧れのホンヤさんがより身近に感じられた。そして今日、生の演奏を目の前で聴くこられた。そして今日、生の演奏を目の前で聴くことが出来て本当に嬉しかったです。ギター文化館で出会った、しおみさんがよりであると言う事。憧れのホンヤさんがよりであるという。

の笑顔が、口々に良かったねと。行ってくれました。終わった後のロビーでは沢山のタネ」石岡にもたくさんの幸せのタネを蒔いて・石岡市民会館で開催のミュージカル「しあわせ

れている我集落。オレンジ色の中を散歩しました。類を数えたら17種類あったそうです。柿畑に囲ま中、知人のカキヤさんでは、栽培している柿の種・柿畑はすっかりオレンジ色になった。収穫真最

眺める

日和でした。 日和でした。 今年は100万球です。 今日思いがけなくツアー はた。 今年は100万球です。 ですが見えませんでした、時折り香っては来まると見ごたえ満載です。 バラもまだ咲いているよると見ごたえ満載です。 バラもまだ咲いているよると見ごたえ満載です。 今日思いがけなくツア したが…? 今朝は畑が霜でキラキラしていて寒 もたが…? 今朝は畑が霜でキラキラしているよ のですが見えませんでした。 今日思いがけなくツア い朝でしたが、 今日思いがけなくツア

・散歩の途中見かけるようになった朱色の実、夏・散歩の途中見かけるようになった朱色の実は、縦縞の入ったスイカのようななかった。果実は、縦縞の入ったスイカのようなものからウインナソーセージの様なものに変わる。ものからウインナソーセージの様なものに変わる。ちのからウインけどの横線の入ったスイカのようない、大きなができる。

やこころの医療センター開催の文化祭、第2回目・こころの医療センター開催の文化祭、第2回目・こころの医療センター開催の文化祭、第2回目・こころの医療センター開催の文化祭、第2回目・こころの医療センター開催の文化祭、第2回目・こころの医療センター開催の文化祭、第2回目

の方の友人が引き継いだ様だ。母の従弟の孫さんの方の友人が引き継いだ様だ。母の従弟の孫さは当時登って行くと、壁の色、店の名前は変わっていたいるか知りたくて尋ねてみることにした。石段を毎夏何泊も過ごさせて貰った。その後どうなっておいたの場所に母の従弟が百貨店を営んでいて、ぐらいの場所に母の従弟が百貨店を営んでいて、い出のつまった所。名物365段の石段街、その中い出ので大が引き継いが開かる。

は水沢観音経由で、ここも紅葉真っ盛りだった。昔を想い出しながら紅葉の中のんびりと。次の日行って見たらと言われ尋ねるも4時過ぎだったため閉まっていた)位持っていると教えてくれた。(温泉街入口の喫茶店には、今、温泉街に喫茶店を1件、高崎市内に7件は、今、温泉街に喫茶店を1件、高崎市内に7件

いろいろ

・関西にお住いのフラメンコギタリスト吉川二郎・関西にお住いのフラメンコギタリスト吉川二郎・関西にお住いのフラメンコギタリスト吉川二郎・関西にお住いのフラメンコギタリスト吉川二郎・関西にお住いのフラメンコギタリスト吉川二郎・関西にお住いのフラメンコギタリスト吉川二郎・関西にお住いのフラメンコギタリスト吉川二郎・

・気候が良く過ごし易く成ってきた。柿が赤く成れば医者は青くなると言われているが、我が家のれば医者は青くなると言われているが、光たくたねと声をかけられる。 ご近所さんからは元気になったねと声をかけられる。 明日から私は 08 会やら何たねと声をかけられる。 明日から私は 08 会やら何をらで、4日程家を空ける。 この調子ではコロはやらで、4日程家を空ける。 散歩もやや、普通に出わられ、急きょ獣医さんのところに、明日からあり、 着が良く過ごし易く成ってきた。 柿が赤く成4日間コロもホテル住まいです。

わけで少しドキドキしながら迎えに行くと、何とょうか? 夫が何でもお願いしますと。そういうたら先生が夫に電話、心臓とか心配な所調べましえに。預かって貰う時、最近の様子を話して置い・4日間留守にして無事帰宅。真っ先にコロを迎

ホッとして家路に。何処も異常がないのは凄いですねと感心された。心臓の方も血液検査も異常ないですね。この年でも素っ気ない態度のコロ。先生からは検査結果を、も素っ気ない態度のコロ。先生からは検査結果を、

《風の呟き》

猿の耳に念仏

打田昇三

が「自由に廻る旅」などは出来ない。 単純に考えれば、仏教の基になる釈迦時代の遺 単純に考えれば、仏教の基になる釈迦時代の遺 単純に考えれば、仏教の基になる釈迦時代の遺 が「自由に廻る旅」などは出来ない。

の学などを襲うと言うから信用は出来ない。 の外で鳴く。人間に危害は加えないと言うが牧場 の外で鳴く。人間に危害は加えないと言うが牧場 になるとジャッカル(小型の狼)が遊びに来て窓 はなるとジャッカル(小型の狼)が遊びに来て窓 を通過するにはそれなりの料金を支払わされる。 を通過するにはそれなりの料金を支払わされる。 を通過するにはそれなりの料金を支払わされる。 を通過するにはそれなりの料金を支払わされる。 を通過するにはそれなりの料金を支払わされる。 ではなっては ではなっては を通過するにはそれなりの料金を支払わされる。 ではなっては ではなっては でが強い。ただ、ホテル周辺には夜 なるとジャッカル(小型の狼)が遊びに来て窓 の外で鳴く。人間に危害は加えないと言うが牧場 の外で鳴く。人間に危害は加えないと言うが牧場

> だが現地に居た大猿は私たちを睨んでいた。 教団体が全面的に支援した成果であることは明白 分なコースである。ただ、その大部分は日本の仏 分なコースである。ただ、その大部分は日本の仏 分なコースである。ただ、その大部分は日本の仏 分は四本が全面的に支援した成果であることは明白 が現地、修行地・霊鷲山、涅槃像の在る寺院、 ルンビニから祇園精舎、釈迦の母を祀る寺院、

危険地帯

打田昇三

て判断する必要があると思う。有るから、当事者はどちらに従うがを慎重に考え面で「虎穴に入らずんば虎児を得ず」というのもぶ言葉は「君子危うきに近寄らず」だが、其の反何か思い切った事をしようとする時に頭に浮か

応に無駄な金が掛かったことは推測出来る。 内戦の続くシリアに行こうとして政府や警察から 、武装組織に拘束された人物が何年ぶりかで 、武装組織に拘束された人物が何年ぶりかで 、武装組織に拘束された人物が何年ぶりかで の形で釈放にをい、 大型の事件 では 大型の では の形で で のに、 其れを振り切るように 現地に 内戦の続くシリアに行こうとして 政府や警察か

本は二十年ほど前にシリア、行ったが、其の当 をいたバールベックなどを回ってから の顔が描かれた垂れ幕」が下がっているのが目障 の顔が描かれた垂れ幕」が下がっているのが目障 の顔が描かれた垂れ幕」が下がっているのが目障 がないたがら国中に「アサド父子 をいたバールベックなどを回ってから隣国ヨルダ をいたバールベックなどを回ってから は、ベイルートから をいたバールベックなどを回ってから は、バールートから をいたが、上の当

> リラが跋扈する国になってしまった。 其の所為では無いと思うがシリアは正体不明のゲのミサイルが中古品で役に立たなかったらしい。 麓のベカー高原に多数のミサイルを配置したが此を受けており、イスラエルを警戒してレバノン山

証しなのかも知れないが、それも程々による。一党独裁のような政局が続いていることは安全なしいから、大日本帝国も国民が不満を持ちながら独裁政権の力が弱まると国家が不安定になるら

変な平等

菅原茂美

分家で、昭和22年75歳没(その時私は12歳)。祖父は岩手県南部旧伊達藩、胆澤村の庄屋からの私の祖父は明治9年生まれの一介の百姓であった。「平等」に関し私の祖父に変な、逸話がある。

るのは不平等である。右にも平等に「利」を与えう言葉があった。訳は、左にだけ「り=利」があるの祖父が日頃口ずさんでいた「みぎり」とい

った。 戦・戦後混乱を経験させた事は、誠に気の毒であ の私には理解できない理屈であった。いずれにし の私には理解できない理屈であった。いずれにし の私には理解できない理屈であった。いずれにし の私には理解できない理屈であった。いずれにし

首謀者名・被害者数 (根拠: ウイキペディア)。ある。虐殺など規模の順にベスト8を例示。さて平等を踏みにじった事例は世界にワンサと

【大虐殺事件世界ベスト8】

第1位:毛沢東(中国)7800万人

せた大躍進政策。 せた文化大革命と、2700万人以上を餓死さ 1943~76年。4000万人以上を死亡さ

100か所以上)に収容。虐殺:飢餓。 量のただ働きの労働者を強制労働収容所(全国で1930~40年代。 国家の工業化のため、大第2位:ヨシフ・スターリン (ソ連) 2300万人。

という毒ガスで殺害した。
「のののののののののでなど、アイスを「カイのののののののののののでないで、カーののののののののののでは、から、それのでは、ボーランドなどで、11年ののでは、アドルフ・ヒトラー (ドイツ) 1700万人。

害した。 集し、不平分子などコンゴの人口の約半分を殺ンゴに「個人植民地」を持ち、象牙やゴムを採19世紀後半。レオポルドII世は、アフリカコ第4位:レオポルドII世 (ベルギー) 1500万人。

場の人は多いであろうから、平安時代の末期に現

て「再びの京都」を目指しても苦情は言えない。役を放棄して夜逃げをした平家が都の混乱に乗じ

1960~70年代。 第6位:ポル・ポト(カンボジャ)170万人。 するため、アルメニア人などを虐殺。 250万人。20世紀初頭。オスマン帝国を統第5位:エンヴエル・パシャ(トルコ)

第8位:李承晩(韓国)120万人。

1950年代

して、完全に平等であるべきだ。してはならない。人間は全て、生まれながらに憤りを感じる。どんな事があっても、独裁は許これが人間のする事かと、震え上がるような

(特別企画)

打田升三の平家物語

巻九 (二-1)

現代でも、そういう上下関係が無視出来ない立 では高位で退官したOBが出先機関などを訪れる に現役時代其の侭で威張り散らす悪例が多い。 「辞めてしまえば只の人」という原理?を忘れて に現役時代其の侭で威張り散らす悪例が多い。 に現役時代其の侭で威張り散らす悪例が多い。 は如何なる権威も無視出来るから楽である。 は如何なる権威も無視出来るから楽である。 は如何なる権威も無視出来るから楽である。 は如何なる権威も無視出来るから楽である。

木曾義仲が滅び、お粗末ながら京都で公家どもは悪い前例を真似た南北の二朝廷が出来て日本をは悪い前例を真似た南北の二朝廷が出来て日本をは悪い前例を真似た南北の二朝廷が出来て日本をに依っては何系でもOKになるのである。

いう壮絶壮大な物語を後世に残すことになった。 大曾義仲が滅び、 お粗末ながら京都で公家どもに囲まれて権威を回復することが出来た後白河法 との思惑はどうでも新たな武力として鎌倉の源頼朝と 皇は、楯となる新たな武力として鎌倉の源頼朝と 皇は、楯となる新たな武力として鎌倉の源頼朝と 上間まれて権威を回復することが出来た後白河法 に囲まれて権威を回復することが出来た後白河法 に囲まれて権威を回復することが出来た後白河法 大智義仲が滅び、 お粗末ながら京都で公家ども

六ケ度軍 (ろくかどのいくさ) のこと

平家と源氏という視点から見れば、気の毒ではあるが木曾義仲の京都支配は付録という感じがしないでも無い。一方で勝手に京都を捨てて西国にないでも無い。一方で勝手に京都を捨てて西国にら金目の物を探し出したように勢力を回復して、ら金目の物を探し出したように勢力を回復して、ら金目の物を探し出したように勢力を回復して、京都が木曾義仲で盛り上がっている隙に四国から京都が木曾義仲で盛り上がっている隙に四国から京都が木曾義仲で盛り上がっている隙に四国から京都が木曾義仲で盛り上がっている隙に四国から京都が木曾義仲の京都支配は付録という視点から見れば、気の毒ではである。各地を放浪していた間に平家も世代交代である。各地を放浪していた間に平家も世代交代である。各地を放浪していた間に平家も世代交代である。各地を放浪していた間に平家も世代交代である。各地を放浪していた間に平家も世代交代である。

は無い。福原に住み着く頃にも其れまでは従っては都を捨てたのであるから、楽々と復活した訳でその平家は「本州に上陸した」と言っても一度

ていた「万世一系の天皇」と言う原則論に従えば日本政府が明治以降に国民を服従させる根拠にしとなる「三種の神器」を抑えているのであるから何よりも平家は現職の安徳天皇を奉じ皇位の証拠

にした。

「いた四国の武士団が離反した。中でも阿波・讃岐にた四国の武士団が離反した。中でも阿波・讃岐の国府近辺に定着していた勢力は、平家から源氏の国府近辺に定着していた勢力は、平家から源氏の国府近辺に定着していた勢力は、平家から源氏の国府近辺に定着していた勢力は、平家から源氏の国府近辺に定着していた勢力は、平家から源氏の国府近の武士団が離反した。中でも阿波・讃岐いた四国の武士団が離反した。中でも阿波・讃岐

って逆襲をした。

丁度、門脇中納言(参議・平教盛)、其の子・越丁度、門脇中納言(参議・平教盛)、其の子・越丁度、門脇中納言(参議・平教経)、其の子・越丁度、門脇中納言(参議・平教経)、其の子・越丁度、門脇中納言(参議・平教経)、其の子・越丁度、門脇中納言(参議・平教経)、其の子・越

人兄弟(頼朝の祖父・為義の末子)を頼った。人兄弟(頼朝の祖父・為義の末子)を頼った。人兄弟(頼の武将・加茂冠者義嗣と淡路冠者義げたのだが途中で淡路島南部(福良港)に着き、其処的ら慌てた。本気で攻められて是は負けると思いから慌てた。本気で攻められて是は負けると思いいかっただけで真面目に合戦する心算は無かったしかっただけで真面目に合戦する心算は無かったしかっただけで真面目に合戦する心算は無かった

拠物件として百三十余人の首が付けられた。 、教経は討手の手柄を福原へ報告したが証 、という、教経は討手の手柄を福原へ報告したが証 、日の合戦で城方は敗れた。加茂冠者は討死し、 に平教経の率いる平家軍が押し寄せて合戦となり 加茂兄弟は城を補強し平家の襲来に備えた。其処加茂兄弟は城を補強し平家の襲来に備えた。其処加茂兄弟は逃げて来た事情を話して匿って貰い、

花園城に行き、能登守は讃岐の八島 (屋島) へ向か其れを攻める為に四国に渡り、兄の通盛は阿波のは伊予の河野四郎 (越智氏) が味方に付かないので一門脇中納言は其処から福原へ行き、二人の息子

田二郎を連れて福原に来た。 というとして海岸部へ行く途中に 大騎は舟で逃れようとして海岸部へ行く途中に 大騎は戸で、上に組んでいた讃岐七郎の首を がは戻って来て、上に組んでいた讃岐七郎の首を がは戻って来て、上に組んでいた讃岐七郎の首を がは戻って来て、上に組んでいた讃岐七郎の首を が明なとして丁寧に田圃へ投げ捨てた。それを を斬り落として丁寧に田圃へ投げ捨てた。それを を斬り落として丁寧に田圃へ投げ捨てた。それを を斬り落として丁寧に田圃へ投げ捨てた。それを を斬り落として丁寧に田圃へ投げ捨てた。それを を斬り落として丁寧に田圃へ投げ捨てた。それを を斬り落として丁寧に田圃へ投げ捨てた。それを を斬り落として丁寧に田圃へ投げ捨てた。それを を斬り落として見よ!」と叫びながら家臣を肩 たいるにして戦場を脱し小船に乗って伊予国に渡った。 と思 を が出上して見よ!」と叫びながら家臣を がと思 が出上して見よ!」と叫びながら家臣を にして戦場を脱し小船に乗って伊予国に渡った。 として がらまた。 を がらまた。 を がらまた。 がらまた。 を がらまた。 を がらまた。 がらまた。 を がらまた。 がらない。 はらない。 がらない。 がらない。 がらない。 がらない。 がらない。 はない。 はない。 はない。 はないない。 はないない。 はないない。 はないな

井に居ると聞いてやって来た。その兵力は百騎ほかけた。安摩六郎は兵庫県西宮沖で敵船と遭遇し此の情報を知った能登守は、小船十艘で是を追い此の情報を知った能登守は、小船十艘で是を追い此の情報を知った能登守は、小船十艘で是を追いい、退いて吹井の浦(ふけいのうら=大阪泉南郡)に着いい、退いて吹井の浦(ふけいのうら=大阪泉南郡)に着いい、退いて吹井の浦(ふけいのうら=大阪泉南郡)に着いが、退いて吹井の浦(ふけいのうら=大阪泉南郡)に着いが平家から源氏に所属替えして大船二雙に兵根米が平家から源氏に所属替えして大船二雙に兵根米が平家から源氏に所属替えして大船二雙に兵根米が平家から源氏に所属替えして大船二雙に兵根米が平家から源氏に所属替えして大船二

どであったが安摩勢と合流した。

うことにした。河野四郎は其れを聞いて、母方伯

武将には碌な奴が居なかった。

切?に斬った首だけ福原に連れて行った。地方の
毒な家来たち二百余人は全員が斬られ、平家は親
いて、自分たちは脱出し行方をくらませた。気の
いて、自分たちは脱出し行方をくらませた。気の
と園辺の両リーダーは家臣たちに防戦をさせて置
攻めて来た。一昼夜、合戦が続いたところで安摩
攻めて来た。一昼夜、合戦が続いたところで安摩

久=おく)に籠った。
緒になり、二千余人の兵で備前国へ渡り今木城(邑豊後の臼杵(うすき)二郎維高や緒方三郎維義と一一方、先に平家軍から逃れた伊予の河野四郎は

れて行った。

は大勢、我らは無勢、此処は暫く身を隠そう」とは大勢、我らは無勢、此処は暫く身を隠そう」とと言う噂になって広がったため城内の兵も「平家と言う噂になって広がったため城内の兵も「平家と言う噂になって広がった形め城内の兵も「平家と言う噂になって広がったのがが強敵なので能登守が増援の申請をした。

の功名を称えた。
の功名を称えた。
の功名を称えた。
を福原へ戻って能登守の毎度に掛かっていると思うが)が寄り集まって能登守の毎度は平宗盛以下、平家一門の公家たち(既に身分は時効つべき敵が居ない」と福原へ戻って行き、福原で気が付けば敵が居なくなったので能登守も「討ちが付けば敵が居なくなったので能登守も「討ちが付けば敵が居なくなったので能登守も「討ちがしている。

に源氏に対抗して営業を開始したのである。き福原を抑え、夜逃げをしたことなど忘れたよう地で、かつての本拠地であった神戸近辺に住み付に四国から勢力を盛り返してきた平家は名門の意こうして京都が木曾義仲に掻き回されている間

三草勢揃(みくさせいぞろえ)のこと

ことを奏聞している。 前の章段で能登守教経など平家方が活躍している。 前の章段で能登守教経など平家方が活躍していたらしく寿永三年(元暦元年、二八四)正月二っていたらしく寿永三年(元暦元年、二八四)正月二っていたらしく寿永三年(元暦元年、二八四)正月二っていたらしく寿永三年(元暦元年、二八四)正月二っていたらしく寿永三年(元暦元年)の為に西国へ向かう」ががいる。

是に対して法皇は「本朝には神代から伝えられた。つまり、後白河法皇は平家討伐など二の次れた。つまり、後白河法皇は平家討伐など二の次れた。つまり、後白河法皇は平家討伐など二の次に…命じたのである。そういう任務が武士に向いに…命じたのである。そういう任務が武士に向いに…命じたのである。そういう任務が武士に向いにいるとも思われないが、範頼と義経は畏まっているとも思われないが、範頼と義経は畏まっているとも思われないが、範頼と義経は畏まっているとも思われないが、範頼と義経は畏まっているとして出のである。

一方、福原では二月四日が亡き平清盛の命日で 一方、福原では二月四日が亡き平清盛の命日で を演を流すぐらいしか出来ない。 一方、福原では二月四日が亡き平清盛の命日で を深を流すぐらいしか出来ない。 一方、福原では二月四日が亡き平清盛の命日で 一方、福原では二月四日が亡き平清盛の命日で と戻るが出来たのであるが、今は を表すがあるので、一族の者が集まって無駄 を決めるでもあるので、一族の者が集まって無駄 を決すがあるので、一族の者が集まって無駄 を決すがよった悲しい春が巡ってきたのである。 である。 であるが、今は であるが、今は とごう訳にはいかない。打ち続 のたが其れでも去年から今年へ歳月は改まって清 のたが其れでも去年から今年へ歳月は改まって である。 であるが、今は を対した。法事とは言 とであるが、今は を対した。 とでったが出来ない。

がったのである。門脇中納言教盛は正二位大納言思われるが、関係者は僧侶も含めて官位官職が上叙位除目(任官叙勲)を行った。是こそ無駄な行事とそれでも清盛への供養をした機会に、一族への

「今日までも在れば在るかの我が身かはども、風前の灯のような平家の現状を思ってに昇格するように統領の宗盛から達せられたけれ

要のうちにも夢を見るかな」 は仕方がない。 要のうちにも夢を見るかな」 は仕方がない。 要のうちにも夢を見るかな」 を詠んで辞退し、大納言には成らなかった。 要氏系では無いが、少納言の下の大外記・中原 でいる。 である周防介(当口県副知事)師純が大外記 はでいる。 である周防介(当口県副知事)が五位蔵人 となり、兵部少輔・藤原尹明(まさあき)が五位蔵人 となり、兵部少輔・藤原尹明(まさあき)が五位蔵人 となり、兵部少輔・藤原尹明(まさあき)が五位蔵人 といいのようと呼ばれた。 要のうちにも夢を見るかな」

古(約1五〇年前)、平将門が東八国を討ち従え下総 世(約1五〇年前)、平将門が東八国を討ち従え下総 世(本)、京都から落ちて来たとは言っても正式に即って、京都から落ちて来たとは言っても正式に即って、京都から落ちて来たとは言っても正式に即た。今の平家は仮の姿ではあるが将門の場合と違た。今の平家は仮の姿ではあるが将門の場合と違い。 は言うものの既に平家討伐の為の軍勢が都を出立しようとしていは言うものの既に平家討伐の為の軍勢が都を出立しようとしているが、 は言うものの既に平家討伐の為の軍勢が都を出立しようとしている。

まりません…」と書かれており、一首の歌が添えおりません…」と書かれており、一首の歌が添えれたところ、宮からの返事に「旅の空の御様子は、の子で母親が清盛夫人・時子の姉妹であったからの子で母親が清盛夫人・時子の姉妹であったからの子で母親が清盛夫人・時子の姉妹であったからので交流があった。「都に戻れそうだ」と手紙に書かたところ、宮からの返事に「旅の空の御様子は、いたところ、宮からの返事に「旅の空の御様子は、いたところ、宮からの返事に「旅の空の御様子は、いたところ、宮からの返事に「旅の空の御様子は、出り、されば、逆に「平家が福原まで攻めてきており、其の頃、逆に「平家が福原まで攻めてきており、其の頃、逆に「平家が福原まで攻めてきており、其の頃、逆に「平家が福原まで攻めてきており、

られていた。

「人知れずそなたを偲ぶ心をば

押し当てて涙に暮れていたのである。厳しい現状を知った僧都は、此の手紙(歌)を顔に厳しい現状を知った僧都は、此の手紙(歌)を顔に

親の娘であり維盛の母は成親の妹)

現の娘であり維盛の母は成親の妹)

親の娘であり維盛の母は成親の妹)

現の娘であり維盛の母は成親の妹)

現の娘であり維盛の母は成親の妹)

と思い松三位中将維盛は、巻第七「維盛都落」

はれる。(維盛の妻は「大納言流罪」で清盛に処罰された藤原成 はれる。(維盛の妻は「大納言流罪」で清盛に処罰された藤原成 はれる。(維盛の妻は「大納言流罪」で清盛に処罰された藤原成 ばれる。(維盛の妻は「大納言流罪」で清盛に処罰された藤原成 ばれる。(維盛の妻は「大納言流罪」で清盛に処罰された藤原成 ばれる。(維盛の妻は「大納言流罪」で清盛に処罰された藤原成 はれる。(維盛の妻は「大納言流罪」で清盛に処罰された藤原成 はれる。(権盛の妻は、大納を入りますというない。)

三郎重成、柈谷(はんがい)四郎重朝、同五郎行重、同源太景季、次男の平次景高、同三郎景家、稲毛次郎教義、同三郎義行、侍大将は梶原平三景時、太郎信義、加賀美二郎遠光、同小二郎長清、山名太郎信義、加賀美二郎遠光、同小二郎長清、山名、政め寄せる源氏軍は二手に分かれ大手の大将軍

の五時頃には現在の兵庫県伊丹市西方地域に陣をが、二月四日の午前八時半頃に都を発って、夕方が、二月四日の午前八時半頃に都を発って、夕方で(藤原秀郷の子孫)、庄三郎忠家(兒玉党)、同四郎高家、行(藤原秀郷の子孫)、庄三郎忠家(兒玉党)、同四郎高家、行(藤原秀郷の子孫)、庄三郎忠家(兒玉党)、同四郎高家、河勝(しょう)大八郎行平、久下二郎重光(ハ山系)、河勝(しょう)大八郎行平、久下二郎重光(ハ山系)、河勝(しょう)大八郎行平、久下二郎重光(中の党)、江戸四郎重春(韓武平氏)、玉井四郎資景、大河津太郎廣四郎重春(韓武平氏)、玉井四郎資景、大河津太郎廣田郎東承郎高道綱、曾我太郎資信(曾我兄弟の子孫)、中村太郎寺経(神の党)、江戸郎資信(曾我兄弟の子孫)、「田本の大郎」、「田本の大郎

模の豪族)、その子・平六義村、畠山庄司次郎重忠、 郎義盛、同次郎義茂、同三郎宗実、佐々木四郎高 同・長野三郎重清、三浦佐原十郎義連、 平、その子・弥太郎遠平、三浦介義澄(桓武平氏、相 綱、同五郎義清、熊谷次郎直実、その子・小次郎 冠者信綱 (後三条源氏、工藤傍系)、 侍大将は土肥次郎実 を一日で通過し播磨国と丹波国の境になる三草山 忠信、江田源三、熊井太郎、 片岡太郎経春 (鹿島神宮神官の一族?)、源八広綱、伊勢 従う人々は安田三郎義貞(甲斐源氏)、大内太郎維義 (甲斐源氏・平賀系)、村上判官代康国 (源氏傍流)、 一方、 多々羅五郎義春 (三浦系)、その子・太郎光義、 同与一親範、 原三郎清益、金子十郎家忠(桓武平氏、武蔵の住 平山武者所季重、天野次郎直経、 搦め手の大将軍は九郎御曹司義経、是に 小野原に到着した。 同日同時刻に都を発って二日かかる行程 奥州佐藤三郎嗣信 (藤原秀郷系)、 渡柳弥五郎清忠、 神戸北方での布陣で 武蔵坊弁慶を先に一 別府小太郎清 和田小太 小河次郎 同四郎 田代

三草合戦(みくさかっせん)のこと

御陣とした。

御陣とした。

御陣とした。

御陣とした。

御陣とした。

御陣とした。

御陣とした。

御陣とした。

源氏のほうは一万余騎も居るのだが敵の勢力が 別氏のほうは一万余騎も居るのだが敵の勢力が 原てて三草山の西に大軍勢を揃えているらしい。 今夜のうちに夜討ちをするか、明日の戦にすべき でです。此方には一万余騎が居るのですから是は よう。どうも現在の平家軍は三千程しか居ないよ すです。此方には一万余騎が居るのですから是は を討ちをなさるべきです…」と進言した。源平盛 表記では平家軍七千としているから三里ほど かったようである。土肥次郎は「よくぞ申された です。此方には一万余騎が居るのだが敵の勢力が を討ちをなさるべきです…」と進言した。源平盛 を討ちをなさるべきですが と進言した。源平盛 ですがら足は がったようである。土肥次郎は「よくぞ申された のたがりがといるがと がったようである。土肥次郎は「よくぞ申された のたがりませましょう」と進撃命令を 田代殿、早速に攻め寄せましょう」と進撃命令を

夜襲を進言した田代冠者は伊豆国の国司某が地方に明るくなった中を源氏軍は進んで行った。とであるから酷いことをしたものである。小野原とであるから酷いことをしたものである。小野原とであるから酷いことをしたものである。小野原とであるから酷いことをしたものである。小野原がよれは途中の民家に火を掛けて明るくすることが真るがある。

皇の第三皇子・資任親王から五代の孫とされ血筋 とで表れる馬に蹴られぬように、辛うじて陣中か とで表れる馬に蹴られぬように、辛うじて陣中か とで表れる馬に蹴られぬように、辛うじて陣中か をである。今夜は充分に寝て置け…」と言う親切な をが、後陣の者は或いは兜を枕に、或いは鎧の袖 たが、後陣の者は或いは兜を枕に、或いは鎧の袖 たが、後陣の者は或いは兜を枕に、或いは鎧の袖 たが、後陣の者は或いは兜を枕に、或いは鎧の袖 たが、後陣の者は或いは兜を枕に、或いは鎧の袖 たが、後陣の者は或いは兜を枕に、或いは鎧の袖 たが、後陣の者は或いは兜を枕に、或いは鎧の袖 たが、後陣の者は或いは兜を枕に、或いは鎧の袖 などを枕にして本格的に寝込んでしまっていた。 その夜中に一万騎の源氏軍が攻め込んだのである る者も矢は取らず、矢を取る者は弓を忘れ、動揺 して暴れる馬に蹴られぬように、辛うじて陣中か

源氏軍は必死に逃れる敵を各所に追い詰めたか原氏軍は必死に逃れる敵を各所に追い許難はできない。 は同じ様なことをして来たから非難はできない。 も同じ様なことをして来たから非難はできない。 も同じ様なことをして来たから非難はできない。 と思ったようで、播磨国高砂から舟で讃岐の八島と思ったようで、播磨国高砂から舟で讃岐の八島に逃れ、現地に疎開してしまった。 従方が無いのに逃れ、現地に疎開してしまった。 保証 は 一年と少将 (有盛)、丹後侍従の三指揮官が面目無いた別に逃れ、現地に疎開してしまった。 仕方が無いの言いまなの五百騎ほどが先ず討たれ負傷者は数えら平家方の五百騎ほどが先ずをといいます。

編集事務局 〒315-0001

石岡市石岡13979‐2

(白井啓治方)

http://www.furusato-kaze.com/

茂光に育てられた。父親は第七十一代・後三条天

元の狩野介工藤茂光の娘に生ませた子と言われて.

ら脱出するのが精一杯のことである。

ふるさと風の会会員募集

当会では、「ふるさと(霞ヶ浦を中心とした周辺地域)の歴史・文化の再発見と創造を考える」仲間達を募集しております。自分達の住む国の暮らしと文化について真面目に考え、声高くふるさとを語り、考える方々の入会をお待ちしております。

会の集まりは、月初めに会報作りを兼ねた懇親会と月末に雑談:勉強会を行っております。

会費は月額2,000円。(会報印刷等の諸経費)

※入会に関するお問い合わせは右記会員まで。

白井 啓治 0299-24-2063 打田 昇三 0299-22-4400 兼平智惠子 0299-26-7178 伊東 弓子 0299-26-1659

ふるさと風の文庫

会報「ふるさと風」に掲載してきたものを、文庫本に編集製本し、石岡市まちかど情報センター他で販売しております。お問い合わせは編集事務局へ



ふるさと風の文庫の主な作品

- ・打田 昇三…打田昇三全集(全6巻)、 歴史の嘘、私本平家物語、 私本将門記他
- ・兼平智惠子…歴史のさといしおか散歩、 ふるさと風のことば他
- ・伊東 弓子…風の景他
- ・小林 幸枝…風に舞う他
- ・菅原 茂美…遥かなる旅路(1、2)
- ・木村 進 …地域に埋もれた歴史シリーズ (全 24 巻)

石岡地方のふるさと昔話、 茨城のちょっと面白い昔話他

・白井 啓治…皇帝ペンギンの首飾り、 霞ケ浦の紅い鯨、 朗読/ふるさと物語…他

ふるさと風劇団「ことば座」団員&朗読教室生募集

劇団員募集

ことば座は、霞ヶ浦を中心とした「ふる里物語」を朗読手話舞と朗読劇に表現する劇団です。ことば座では、スタッフ部門・俳優部門の団員を募集しています。

ふる里劇団に興味をお持ちの方の連絡をお待ちしています。

朗読教室生の募集

朗読とは、物語を読み聞かせるのではなく、声に劇しく(はげしく)心を演じることを言います。何かで自分表現をしたいと考えておられる方、朗読による自分表現を考えてみませんか。演劇表現としての朗読の基礎を学び、朗読で自分表現を、また朗読で「ふる里の歴史・文化」をつたえて行きたいとの思いのある方、連絡をお待ちしております。月1回コース(受講料: ¥6,000 円) 2回コース(受講料: ¥9,000 円)

ふるさと風の会編集事務局 〒315 - 0001 茨城県石岡市石岡 13979 - 2 TE 080-3125-1307 (白井)